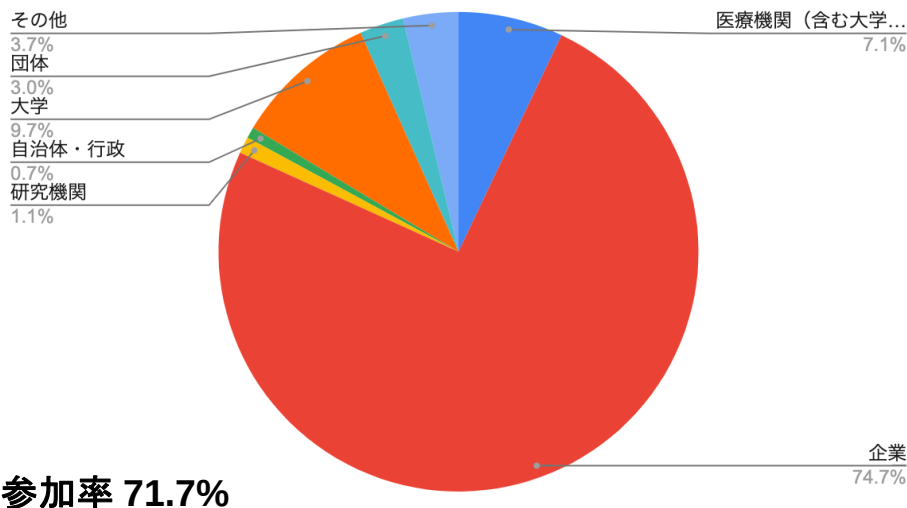


シンポジウム参加者数

	参加者数	申込数
医療機関（含む大学病院）	19	34
企業	201	266
研究機関	3	3
自治体・行政	2	2
大学	26	33
団体	8	15
その他	10	22
合計	269	375

※うち、NeXEHRs会員 124名/167名（46%/45%）

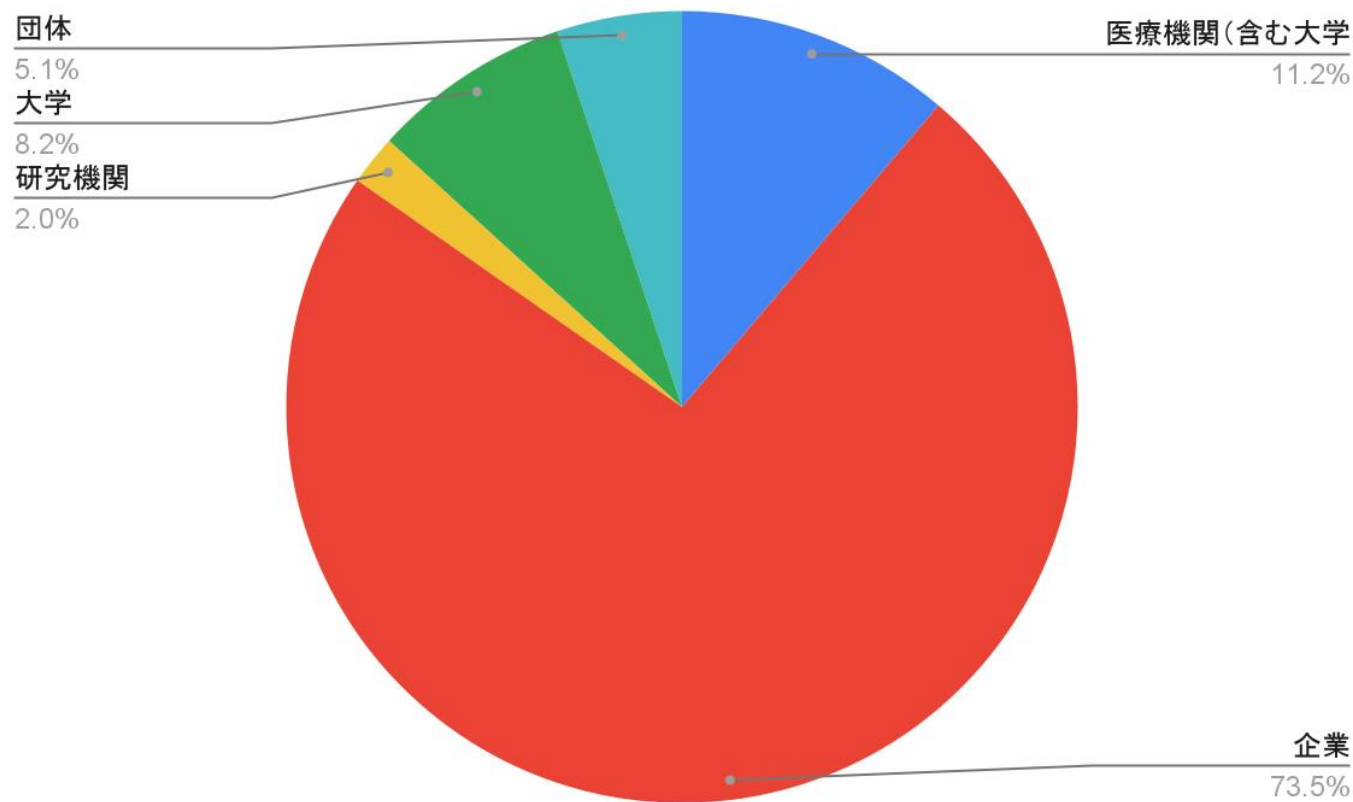
参加者数



アンケート回答数

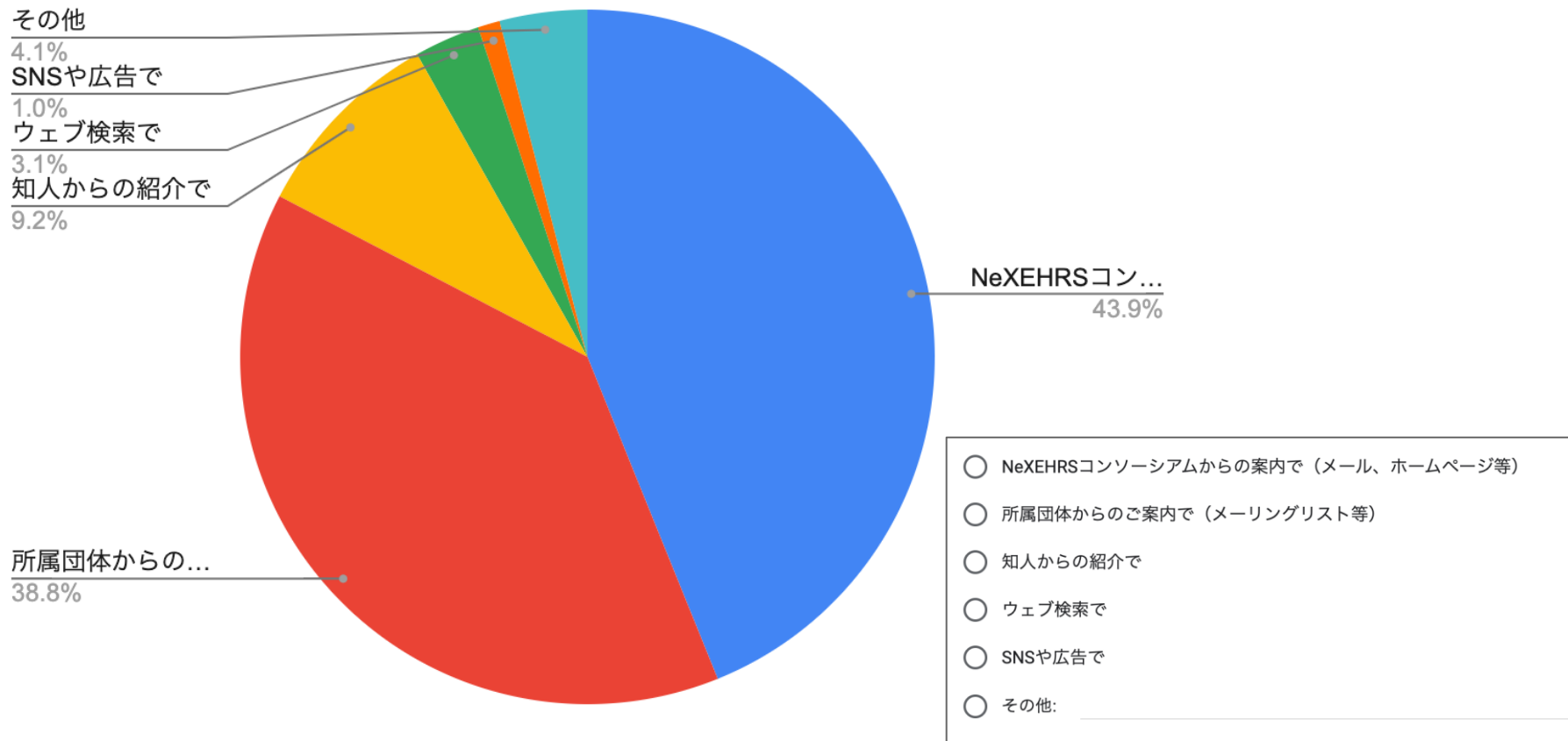
合計	98件（回答率 36.4%）
----	----------------

1. あなたの所属について以下から選択してください。

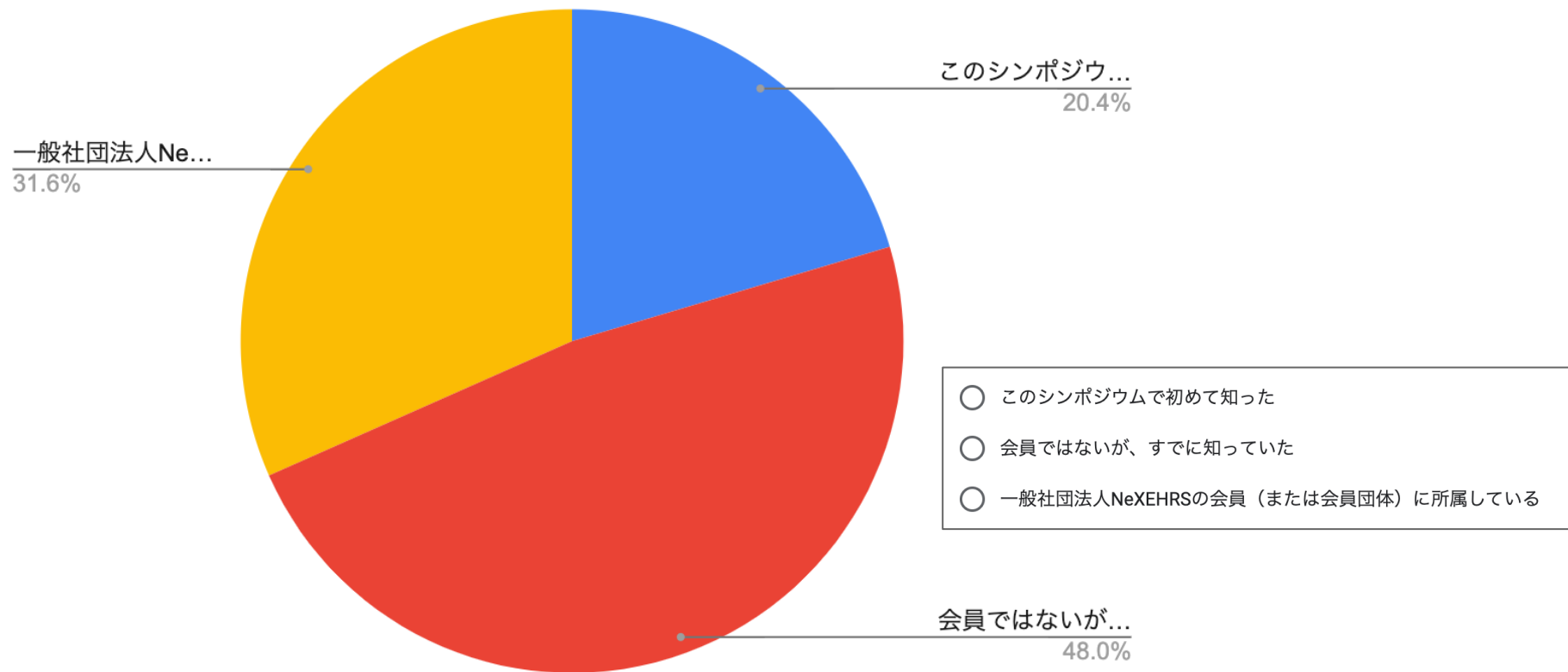


- ☐ 医療機関（含む大学病院）
- ☐ 企業
- ☐ 研究機関
- ☐ 自治体・行政
- ☐ 大学
- ☐ 団体
- ☐ その他: _____

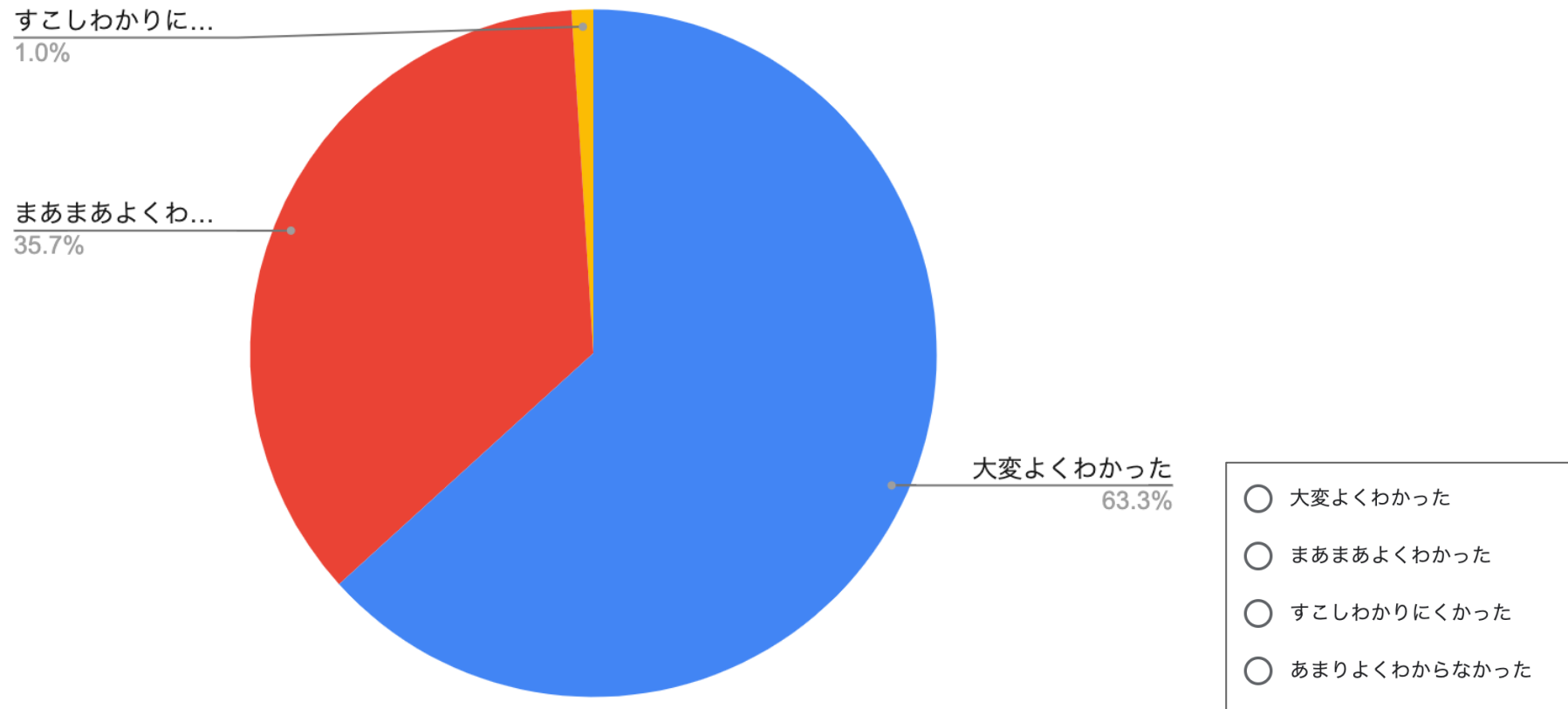
2. このシンポジウムを何で知りましたか？



3. 一般社団法人NeXEHRs（NeXEHRsコンソーシアム）のことはご存知でしたか？



4. シンポジウムを聞いてNeXEHRsの活動内容や目的を理解できたでしょうか



5. 今回のシンポジウムを聞いて、今後のPHRサービス・業界に対する期待や課題など、あなたのお考えをお聞かせください。（回答 36件）

#1	#2	#5
医療機関（含む大学病院）	会員ではないが、すでに知っていた	標準化と同意取得の重要性を改めて考えた。
企業	このシンポジウムで初めて知った	国民への理解、企業同士の共創を促す活動。
医療機関（含む大学病院）	会員ではないが、すでに知っていた	医療機関の部門サービスの開発者などが、対応しやすいようにデータ連携のフォーマットの詳細やチュートリアルなどのマニュアルをわかりやすく整備していただきたいです。
企業	このシンポジウムで初めて知った	企業が社会実装するためのマネタイズ課題の解決が最優先
企業	一般社団法人NeXEHRsの会員（または会員団体）に所属している	PHRサービスに多くの情報を集約できるようになってきているが、PHRサービス間の相互運用性がどうなっているのか？ というのが気になります。 例えば、電子カルテベンダー①のシステムは、PHRサービスAに対してはデータの連携ができるがPHRサービスBに対してはデータが連携できない、というようになってしまうと、全体としてのデータの集約が難しくなってくると思われます。 各サービスごとに、どのように収益を上げていくか？ ということもあるため難しいところもあるとは思いますが、全体としての相互運用性が高まっていくことを期待します。
大学	このシンポジウムで初めて知った	個人情報がどのように利用されるのか、具体例がもっとあると、自分の情報をどこまで提示するか、利用してもらうかを判断する際の参考にしやすいと考えます。

5. 今回のシンポジウムを聞いて、今後のPHRサービス・業界に対する期待や課題など、あなたのお考えをお聞かせください。（回答 36件）

#1	#2	#5
大学	会員ではないが、すでに知っていた	情報提供者と情報消費者が隔離されているかぎりにはPersonalにはなりえないと考えています。
企業	このシンポジウムで初めて知った	課題として、患者の理解、データの標準化、マネタイズが挙げられると感じました。特に、患者の理解に関しては、専門性の高い医療、情報という分野に関して多忙な医療者が説明・同意取得を行うのは非常に困難であると感じました。国全体で国民全員に対してリテラシー向上を図るほか、このような内容を患者に分かり易く伝える専門性、専門職も必要とされ、サイエンスコミュニケーションや遺伝カウンセリングといった分野が寄与できるように思いました。
企業	このシンポジウムで初めて知った	世界で競争力のある取組を実行し続けてほしい
企業	会員ではないが、すでに知っていた	前進していることは理解できるが、やはり先が長いな、と感じました。
企業	このシンポジウムで初めて知った	事業化するためには、マネタイズとUser満足がやはり課題と考えます。更に発展させるためには法規制と標準化が課題と考えます。
企業	会員ではないが、すでに知っていた	是非推進していきたい。
企業	一般社団法人NeXEHRsの会員（または会員団体）に所属している	データが安全に本人が管理できること

5. 今回のシンポジウムを聞いて、今後のPHRサービス・業界に対する期待や課題など、あなたのお考えをお聞かせください。 (回答 36件)

#1	#2	#5
企業	会員ではないが、すでに知っていた	電子カルテベンダーを中心に全ベンダーが協力して取り組むべきである。標準コードはGS1標準を厚労省標準にすべきである。
団体	このシンポジウムで初めて知った	先生方の問題意識に共感できました。
企業	会員ではないが、すでに知っていた	利用する住民のリテラシーを国がどう進めていくかが課題だと思います。
企業	このシンポジウムで初めて知った	電子カルテと同様にPHRサービスも囲い込みではなくデータの標準化やオープンな流通の仕組みを法整備も含めてやっていかないと感じました。
企業	このシンポジウムで初めて知った	ユーザーにPHRの価値をどのようにかんじてもらうかが課題とおもってます
企業	このシンポジウムで初めて知った	民間活用の早期実現に期待
企業	一般社団法人NeXEHRsの会員（または会員団体）に所属している	ベンダーロックインを極力排除した、データの標準化準拠、二次活用をしっかりと視野に入れたシステムを世の中にLaunch頂きたい。
医療機関（含む大学病院）	会員ではないが、すでに知っていた	PHR間の連携が重要かつ大変だと思いました
企業	一般社団法人NeXEHRsの会員（または会員団体）に所属している	分からないことが分からないという山口さんのご意見がとても響きました。
企業	一般社団法人NeXEHRsの会員（または会員団体）に所属している	会場でも議論になっていましたが、PHRサービス間で今までに入力した情報が移行できるようになるとありがたいです。

5. 今回のシンポジウムを聞いて、今後のPHRサービス・業界に対する期待や課題など、あなたのお考えをお聞かせください。（回答 36件）

#1	#2	#5
医療機関（含む大学病院）	会員ではないが、すでに知っていた	PHR活用側の視点が医療者目線、患者目線、企業側目線があり、今後推進するには医療者・患者目線の相互理解と国が推進するためのインセンティブがないとなかなか進まないと感じた
大学	会員ではないが、すでに知っていた	講演中でも指摘されていましたが、地域医療連携事業やPHRサービスの乱立とサイロ化の問題について、情報交換規約の標準化などの技術的な対応は進められる一方で、サービスの乗り換えや関連する手続きなど、利用者側への配慮がまだまだ足りていないように思われます。地域間の移動やPHRサービス乗り換えに対する利用者にとっての簡素化や利便性の向上、利用者支援についても考えていく必要があると思います。
企業	会員ではないが、すでに知っていた	PHR事業に参画しようと考えています。
企業	会員ではないが、すでに知っていた	一般の方（患者さん等）に理解していただく工夫が重要なのではと感じました。
企業	一般社団法人NeXEHRsの会員（または会員団体）に所属している	ITで人の一生のデータを扱うことができるようになり、まず医療・健康から応用がスタートしているということがよくわかりました。他分野での応用の先駆けとしての意義も重要だと思います。

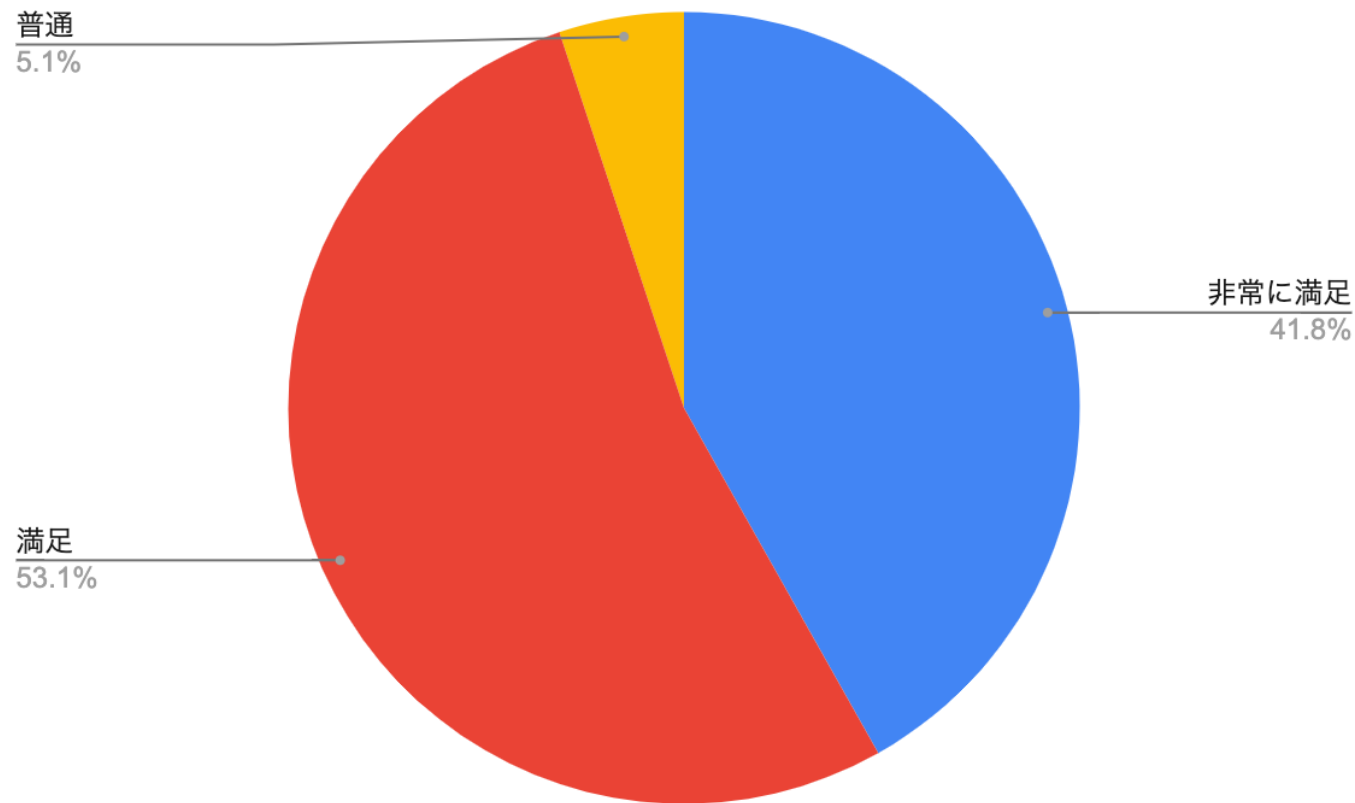
5. 今回のシンポジウムを聞いて、今後のPHRサービス・業界に対する期待や課題など、あなたのお考えをお聞かせください。（回答 36件）

#1	#2	#5
大学	会員ではないが、すでに知っていた	健康医療情報を管理する一般的なPHRサービスの普及には難しさがあると思いました。一方で目的が特化されたPHRサービスでは継続利用される傾向もあり、マネタイズの面でも有利なようです。PHRについても機能、対象を分けて議論を進めるとよいと感じました。
大学	会員ではないが、すでに知っていた	PHRとEHRの情報が標準化され、蓄積された自身の健康医療情報を参照しながら健康管理に利用できるようになるのは大変素晴らしいと思います。日々のバイタルデータなど自身がアプリから登録した情報は、現在どの程度標準化されているか、今後どのように標準化がなされていくのか知りたいです。
企業	このシンポジウムで初めて知った	データの標準化等、全体最適の部分は一企業ではできず、このような団体が非常に重要であると感じました
企業	会員ではないが、すでに知っていた	情報の利活用に対しての社会（国民）の拒否感をどのように解消していくかが一番の課題と感じます。クレジットカードやスマホアプリ等の規約はよく読まずに同意するが、政府の取組や情報利活用の新しいサービスには抵抗するという風潮を業界全体で変えていくようにしなければならないと考えています。
研究機関	会員ではないが、すでに知っていた	マネタイズ

5. 今回のシンポジウムを聞いて、今後のPHRサービス・業界に対する期待や課題など、あなたのお考えをお聞かせください。 (回答 36件)

#1	#2	#5
企業	一般社団法人NeXEHRsの会員（または会員団体）に所属している	質疑応答の中でも指摘がありましたが、PHRや医療情報は扱うデータが多種多様であり膨大になりサービスの維持コストがかかると思うため、サービス提供と価値提供のサイクルをうまく回せるような仕組みの構築が大事だと改めて認識しました
企業	会員ではないが、すでに知っていた	データ流通のマネタイズ方法、国民の認知度向上
企業	一般社団法人NeXEHRsの会員（または会員団体）に所属している	医療・健康情報のシステム提供側にやはりガイドラインが必要。一定程度の囲い込みは致し方ないにしてもユーザーがある程度自由に選択・データ移行を可能とする仕組みも必要

6. 今回のシンポジウムの満足度を教えてください



- ☐ 非常に満足
- ☐ 満足
- ☐ 普通
- ☐ 不満
- ☐ 非常に不満

7. 前の 5.~6. の質問について自由にご意見や感想をお書きください。 (回答 12件)

#1	#3	#7
団体	会員ではないが、すでに知っていた	要配慮個人情報データ扱いが課題であったはずですが、どんどんグレーになっているのかホワイトになっているのかより分からなくなりました
大学	このシンポジウムで初めて知った	今回の資料をもらえると、理解の補足になり、ありがたいです。
大学	会員ではないが、すでに知っていた	医療情報の標準化に過去に10年ほど携わっていましたが、同じ問題が未だに議論されているのには失望しました。
企業	会員ではないが、すでに知っていた	基礎的な資料だけでも事前に勉強したいと思います。
企業	このシンポジウムで初めて知った	貴重なシンポジウムを開催いただき誠にありがとうございました。
企業	会員ではないが、すでに知っていた	医療機関等から情報を取得する際の法規制、制限など知りたい。全て個人（患者）が承諾すれば医療機関は提供しなければならないのか？

7. 前の 5.~6. の質問について自由にご意見や感想をお書きください。 (回答 12件)

#1	#3	#7
企業	会員ではないが、すでに知っていた	各講師が良かった。
団体	このシンポジウムで初めて知った	健康管理の意識は、技術やシステムだけではなく、生活文化の在り方への共感が必要かと思っています。AIの進化も関係してくると思います。一人ひとりの問題ですね。
医療機関（含む大学病院）	会員ではないが、すでに知っていた	各方面からわかりやすいお話でした
企業	一般社団法人NeXEHRsの会員（または会員団体）に所属している	出口規制や一般人代表という考え方が新鮮でした。
大学	会員ではないが、すでに知っていた	技術的な面もさることながら、一般の人のベネフィット、法制度・社会制度における課題に言及されていた点が印象に残りました。
企業	会員ではないが、すでに知っていた	今回ご登壇された方々のように様々な立場の企業・団体が共に考えていく機会が今後も増えていくと良いと感じます。

8. 今後一般社団法人NeXEHRsの活動に取り入れて欲しいと思うことや、ご意見があれば自由にお書きください。 (回答 16件)

#1	#3	#8
団体	会員ではないが、すでに知っていた	投資対効果がはっきりとした実例を盛り込んでいてほしいと思います
医療機関（含む大学病院）	会員ではないが、すでに知っていた	海外の状況との比較、多言語化、海外に移住する人へのサービス
大学	このシンポジウムで初めて知った	過去のシンポジウムのオンデマンド配信がなされたり、最新の情報の提供があると嬉しいです。
企業	このシンポジウムで初めて知った	また機会があればイベントに参加させていただきたく存じます。どうぞよろしく願いいたします。
企業	このシンポジウムで初めて知った	標準化活動との連携

8. 今後一般社団法人NeXEHRsの活動に取り入れて欲しいと思うことや、ご意見があれば自由にお書きください。 (回答 16件)

#1	#3	#8
企業	会員ではないが、すでに知っていた	一般向け発信強化、様々な企業の参加できる分野の拡大、があればありがたいと思います。
企業	このシンポジウムで初めて知った	日本における活動が第一優先ではありますが、アジアや欧米・諸外国の最新情報についても重要と考えます。既に取り組まれている活動もあるかと存じますが、年1回等の頻度で各国のUpdate情報の共有をいただけますと幸いです。
企業	会員ではないが、すでに知っていた	個人的に民生委員、自治会役員などの活動をしていると、今後必要な仕組みだと考える。国民、特に高齢者などにも分かりやすく説明する仕組みがあると良い。
企業	会員ではないが、すでに知っていた	先ず、薬剤、診療材のコード標準化から。
企業	会員ではないが、すでに知っていた	ありがとうございました。

8. 今後一般社団法人NeXEHRsの活動に取り入れて欲しいと思うことや、ご意見があれば自由にお書きください。 (回答 16件)

#1	#3	#8
企業	一般社団法人NeXEHRsの会員（または会員団体）に所属している	データの利活用というところでは、オープンソース活動との連携があるとよいかもしれません。
大学	会員ではないが、すでに知っていた	医療機関等と個人の関係における健康医療情報への取り組みとして参考になりました。安心して暮らせる社会の構築のためのステークホルダーとして行政や職場といった中間的な主体の役割もあると思いますが、そういったところでも、是非はともかくとして利活用の機運が高まっており、やはり利活用のあり方、個人情報の取り扱いに関して同様の課題に直面しております。
大学	会員ではないが、すでに知っていた	医療DXの推進に関する工程表のそれぞれの項目（特に電子カルテの標準化）について、現状と今度の方向性について講演会を開いていただけたら大変勉強になります。
企業	このシンポジウムで初めて知った	規格化は全体最適の為には非常に重要だと思います。NeXEHRsの活動を推進頂き、規格化をすすめて頂けましたら幸いです

8. 今後一般社団法人NeXEHRsの活動に取り入れて欲しいと思うことや、ご意見があれば自由にお書きください。 (回答 16件)

#1	#3	#8
企業	会員ではないが、すでに知っていた	大江先生から一般の方に広めたいというお話がありました。一方でNeXEHRsの会員企業・団体のリストを見ると専門性の高い（専門の知識や商材を持つ等をしている）方々が多く、かなりハードルが高いと感じるところがあります。こうすれば仲間に加われる、こうやって広めていきたいといった情報発信もしていただければと思います。
研究機関	会員ではないが、すでに知っていた	次回シンポジウムも期待しています